

## 車両所構内において列車の一部車輪が一時的に脱線した事象の原因と対策

2022年9月12日  
西日本旅客鉄道株式会社

2022年9月6日（火）、車両所構内において、回送列車の一部車輪が一時的に脱線、約150m走行後、所定線路に戻っていたことが判明しました。概要は以下のとおりです。

1. 発生日時 2022年9月6日（火） 21時36分頃
2. 発生場所 吹田総合車両所 京都支所 西発11番線  
＜所在地＞京都府向日市鶏冠井町（かいでちょう）四ノ坪17  
※向日町駅に隣接する車両の検査・修繕を担当する部署
3. 列車名 回送列車（289系）7両編成

### 4. 概況

9月7日（水）7時10分頃、福知山電車区から「列車の手歯止めが無い」旨の連絡を受けた京都支所の係員は、前日に当該列車が出区した西発11番線を確認したところ、壊れた手歯止めを発見し、その後地面に車輪痕（※）を認めた。詳細調査した結果、9月6日（火）21時36分に当該回送列車が西発11番線から出発する際、前から7両目（7号車）の最後部の車輪が一時的に脱線、約150m走行後、所定線路に戻っていたことが判明した。その後、当該列車の車両状態を点検した結果、運転に支障がないことを確認した。

※車輪痕は進行方向右側、レールから約15cmの距離に、長さ約150mにわたり確認

なお、当該回送列車は台風11号の影響による運用変更に伴い京都支所において4両と3両を併結して7両編成として出区し新大阪駅に到着後、営業列車（特急「こうのとり」27号）として新大阪～福知山駅間を走行した。

### 5. 推定原因

臨時の併結作業後の手歯止めの扱いに関し、関係者間で認識の齟齬があり、構内運転士は併結作業後に7両目に手歯止めを設置し、回送列車の運転士は設置された手歯止めを知らずに速度25km/h以下で運転を開始したことで、車輪が手歯止めに乗り上げて脱線したものと推定

### 6. 対策

- ・臨時の併結作業において、手歯止め手配、出区点検など、関係者間で確認すべき項目を明確化し、情報共有を徹底する
- ・車両が乗り上げても脱線に至らない手歯止めの置き換え（鉄製→プラスチック製）をさらに進めていく

### 7. その他

- ・営業列車にご乗車されたお客様にお怪我はありませんでした。
- ・この関係での列車遅延、運休はありませんでした。

<吹田総合車両所 京都支所構内 概略図>

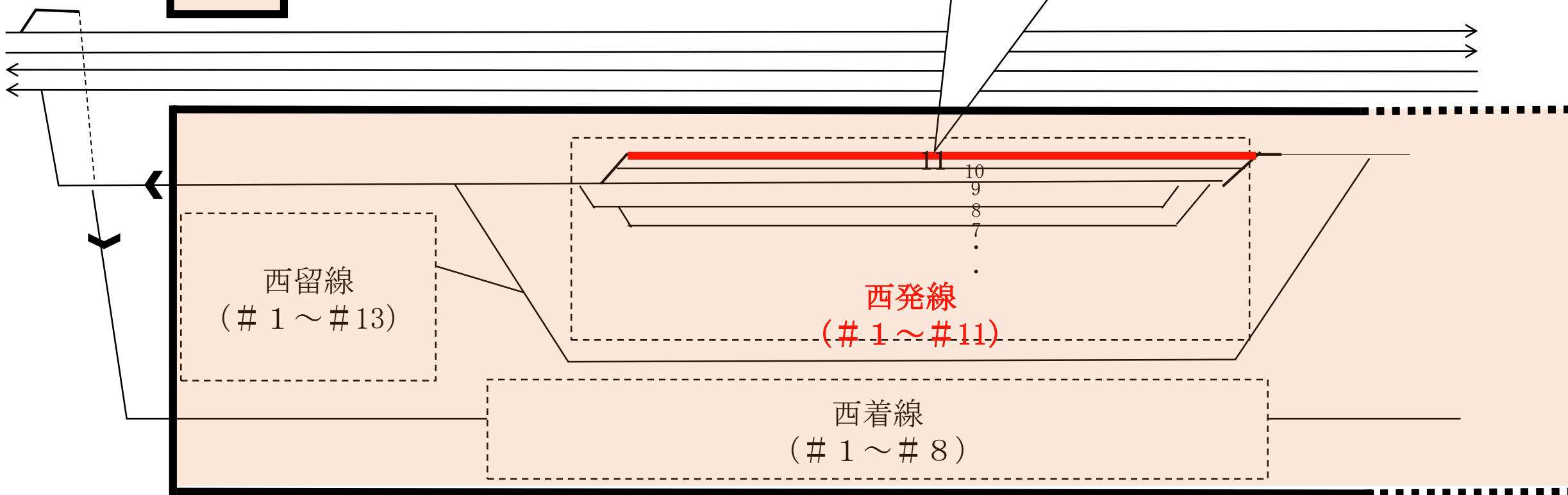
大阪方面



は京都支所構内のエリア

発生場所 (西発11番線)

京都方面



<回送列車 (289系) 7両編成イメージ>

脱線した車輪 (1軸2輪)

